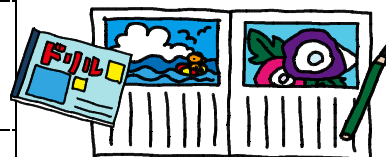


チーム えがお



発行者:校長 岡田 達也

【学校教育目標：たくましく生きる児童の育成】

・やさしい子 ・考える子 ・元気な子 ・やりぬく子

～ 園が お かが や き かんばる 学校 困う えんだん 「チーム北川」～

2学期スタート 合言葉は「つなぐ」!

今日から2学期がスタートしました。学校には、子どもたちの笑顔と元気な笑い声が戻ってきました。夏休み中に大きな事故やけがもなく、元気に2学期を迎えることができたことを心からうれしく思います。これも、保護者の皆様、地域の皆様が、しっかりと子どもたちを見守ってくださったおかげと感謝しています。本当にありがとうございました。

さて、1学期の終業式で子どもたちに「夏休みに、何か一つのことを決めて、最後までやりとげよう!」と話しましたが、ちゃんとやることを決め、最後まで取り組むことができたでしょうか。私は、「自分が食べた食器をきちんと片付ける」ことに取り組み、最後までやり遂げることができました。今も続けています! やり遂げることができた子どもたちには、大きな拍手を送ります。「おめでとう!」そして、残念ながらできなかった子どもたちには、応援のエールを送ります。「あきらめずに、次にチャレンジしよう!」

2学期の始業式では、次のような話をしました。

2学期の合言葉は、「つなぐ」「つながる」です。

学習でも、生活でも、「自分」と「人（友達・先生・家族・地域の人など）」や「もの」、「出来事・行事」などなどを「つなぐ」。「つなぐ」ことで、何事も自分のこととして捉え、考えることができます。つなげて考えることで、いろいろな気づき生まれ、学びも深まります。特に、自分の考えや思いと友達の考えや思いを「つなぐ」ことで、考えを深めたり、互いにより一層理解し合ったりすることができます。

そして、友達同士（同級生＝横のつながりや上学年と下学年＝縦のつながり）、自分と先生、家族、地域の人、先生と保護者、地域の人など、みんなが「つながる」ことで、より学校の教育活動は豊かに、充実していきます。そのことが、みなさん一人一人のよりよい育ちにつながっていきます。

夏休みに私たち教職員もいろいろなことを研修で学びました。その学びを日々の授業や指導に生かしていきます。学習や生活の中で、子どもと子どもの考えをつなぐとともに、「わからない」「できない」「難しい」「自信がない」といった子どもたちの心の声にも耳を傾け、しっかりとつないでいきたいと思えます。子どもたちが、長い2学期を安心して学習、生活することができるように、子ども同士のつながり（人間関係）や子どもと教職員のつながり（信頼関係）を大切にならねばならないと思えます。

2学期に、子どもたち一人一人に「力」（確かな学力、豊かな心、健やかな体）をつけることができるよう、私たちも一丸となってがんばります。私たち教職員のもう一つの合言葉は、「徹底」です。一つ一つのことを徹底して指導することで、子どもたち一人一人、集団に力をつけることができます。保護者のみなさん、地域のみなさんのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

保護者・地域の皆様にはたいへんお世話になりました!

夏休みが子どもたちにとってよい体験の場となりましたのも、保護者の皆様、地域の皆様のおかげです。保護者の皆様には、プール開放、夕べの集い、親子ふれあい作業（奉仕作業）と、夏の暑い中にもかかわらず、監視や準備、そして会の運営や草取りなどなど、大変お世話になりました。

地域の皆様には、納涼祭や北川昔遊び祭りなど、子どもたちにとって地域を知るとともに、地域の方々と触れ合う場を設けていただきました。こうした子どもたちへの深い愛情があればこそ、子どもたちは安心して成長していくことができます。